



1873→2025

たすけあい かたりあい わかりあい しんじあい

高鷲小学校だより

令和7年度 11月号

令和7年11月1日
羽曳野市立高鷲小学校
発行：校長 小島 博之

「思い出に残る最高の運動会にしよう!!」

10月18日早朝の誰もいない運動場。児童席の中央に赤白（校区育成協から寄贈）・両翼に濃紺（高鷲中学校から拝借）のテントが立ち並んでいる光景に圧倒されました。本部席に目を移すと紺と緑の既存に加えベージュ（校区在住の方からご厚意で購入）のテントが新たな役割を得て設置されています。厚い雲間から光が射し、前日に高鷲っ子と先生たちが準備してくれたグラウンドを美しく照らしました。ここが「なつかしい」高鷲小学校の「あたらしい」運動会の会場なんだと、前日まで3日間出張していた私は感激し、ここをつくっていただいたすべての方々への感謝の念があふれ、運動場に一礼しました。

この運動場に、暑かった日々からの練習と前日の準備を見事に頑張った、主役の高鷲っ子が登場しました。児童会スローガン（本タイトル）が読み上げられて運動会がスタート。曇天で時々小雨の中でも、高鷲っ子の熱気あふれる演技競技と参観されるみなさまの温かさがどんどんプログラムを進めてくれています。時々のおく晴れ間にほっとしながら、会場を見渡すと「がんばれ～」の大声援や拍手に加え、各学年のダンスとあわせて踊っている人が続出（大人も子どもも）。一体感に包まれた素晴らしい時間はあっという間に過ぎ、みんなが達成感のある「思い出に残る最高の運動会」を一緒につくることができました。

裏面に【運動会ちょこっとギャラリー】を設けました。学年や係活動での高鷲っ子の頑張りをぜひ一緒に称えましょう。



◆「たかわし」を大切に～【たかわし】の運動会をみんなでつくる

運動会運営の大きな柱は高学年の係活動です。そのひとつ、応援係が、全体練習に先立ち各学級に朝練レクチャーをしに行くのですが、10月9日5年生の教室で、それに向けて「どうやったらうまく伝わるかな」「それ左右逆やで」「じゃあ後ろ向きでやるといいよ」等クラス総力でブラッシュアップ。まさしく【たすけあい】→【かたりあい】→【わかりあい】場面に遭遇しました。翌10日の各学級レクチャーを経て、14日の全体練習ではその成果が現れました。高鷲っ子が【しんじあい】につながる活動を見出して嬉しかったです。



[おわび]小島が体調不良により11月当初からお休みをいただいております、学校だより11月号の発行が大変遅くなりました。ご迷惑やご心配をおかけして申し訳ございません。11月10日復帰しました。温かいお言葉をいただき感謝申し上げます。

◆11月行事予定(12月主なもの)は裏面に掲載しています。ご確認よろしくお祈いします。

10月18日(土)運動会へのご参観ありがとうございました。保護者や地域のみなさまのご理解ご協力のもと高鷲っ子にとって大変実りある行事となりました。あらためて心より感謝申し上げます。

11月は各学年の校外学習や6年生修学旅行があります。お弁当はじめ様々なご準備よろしくお祈いします。また、研究会や懇談会等で変則的な時間割が続きますが、重ねてご協力よろしくお祈いします。個人懇談会ではお子さまの成長についてご家庭と学校で共有できる時間にしたいです。

あわせて、別紙及び学校HPにて、今年度の全国学力・学習状況調査の本校の分析をお知らせします。今回お知らせする結果は学力や学習状況の一部であり、子どもたちの学力や学習状況、学校の教育活動などのすべてを表すものではありません。6年生だけでなく高鷲小全体の授業はじめ教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てていきます。ご理解ご協力よろしくお祈いします。

五感をはたらかせてホンモノから探究する

10月21日の下校時。3年生が止まりつつ進んできます。「かげが消える〜」。国語『ちいちゃんのかげおくり』の「かげおくり」が天候の加減でうまくできないようです。「どうやったらかげができるの?」「そーやね・・・」理科「光」と「影」の学習でかげのでき方を探ってみましょう。



10月24日。1年生がセンダンの木を色鉛筆でスケッチしています。教室で想像で描いた木の絵は幹が茶色で葉が緑色の2色がほとんど。でも外で本物を見ると「いろんな葉っぱがある」と緑色から黄色・黄緑色・茶色などに持ち替え、色鮮やかなセンダンの絵が描かれています。



10月28日。運動場で体操服の1年生が雲に向かってみんなで何やら叫んでいます。この状況が「くじらぐもといっしょ」とのこと。タイミングを逃さず時や雲をみてすごいです。



10月30日のお昼。廊下の窓際に並ぶ3人の3年生。「寒いから太陽(日光)に当たってる〜」「この服黒やかから温い」「白はあかん」「緑はどうなるん・・・」探究心旺盛な高鷲っ子です。

◆「たかわし」を大切に〜「みんな大切な高鷲っ子 みんなで見て みんなで育てる」

羽曳野市では保幼小中15か年一貫教育を推進しており、中学校区では10月27日に高鷲中・高鷲北小・こども未来館たかわしの先生が高鷲小の授業参観など、年間を通じて様々な連携活動に取り組んでいます。今年から特色ある取り組みとして、こども未来館たかわしの年長児さんとのフランクな交流。10月15日に1・2年生のダンスと5・6年生のソーランを園児に披露。雨上がりの運動場で「おそうじ(水とり)した〜」と張り切る1年生。法被をまとい「もっと腰を下ろそうや」と気合十分の5年生。拍手はうれしい顔でした。



もう一つ変わり種の連携。18日運動会では前述どおり高鷲中からテントを拝借しましたが、終了後の片付けの際に保護者のみなさまに紛れて「手伝いま〜す」の声は去年の卒業生(現中1)。「これうち(高鷲中)のテントやから」と関係プレーで実に手際よくにこやかにおかたづけ。旧交の先生たちとのフランクな会話は相変わらずも、強力な助っ人のたくましさを実感しました。

